

—平成30年度 医学生地域医療奨学金募集要項—

この制度は、将来県内の医療機関で勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、県内医療機関における医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

1 対象者

平成30年度鳥取大学医学部医学科島根県枠入学者

2 貸与額と交付方法等

(1) 貸与額

入学金相当	282,000円（入学年のみ）
月額	100,000円
【6年間貸与総額】	7,482,000円

(2) 交付方法

毎月1回交付します。ただし、年度初めは2ヶ月分まとめて交付する場合があります。

(3) 貸与期間

2018年4月1日から2024年3月31日まで（6年間）

3 貸与申請手続

奨学金の貸与の申請にあたって、次の書類を提出してください。

(1) 医学生地域医療奨学金貸与申請書（様式第1号）

必ず独立の生計を営む身元確実な成年者1名を連帯保証人としてください。申請者の保護者を充てることも可能です。連帯保証人欄には、印鑑証明書と同一の印鑑を押印してください。

(2) 連帯保証人の所得証明書、印鑑証明書 各1通

発行後、3か月以内のものを提出してください

(3) 大学の在学証明書

必ず学年が記載されているものを提出してください

(4) 申請者本人の口座振替申出書

(5) しまね地域医療支援センター登録申込書

しまね地域医療支援センターは若手医師のキャリア形成等を支援する組織で、奨学金の貸与を受けられた方は、同センターへ登録いただきます。（P6～7参照）

提出期限：平成30年4月13日（金）【必着】

4 提出先

島根県が奨学金の申請書受理及び支出の事務を委託している下記の業者あてに書類を提出してください（郵送可）。

〒690-0062 島根県松江市魚町10番地
山陰合同銀行 地域振興部 島根県受託事務担当
(TEL:0852-55-1838 FAX:0852-28-0495 E-mail:kenjimu@gogin.co.jp)

5 貸与者の決定

提出された書類を審査のうえ被貸与者を決定し、申請者あてに通知します。

6 奨学金の返還の免除

下記の条件に該当する場合に、奨学金の返還が免除されます。

大学の課程を修了した日の属する月の翌月の初日から、12年（注）を経過する日までの間に、6年間指定医療機関において（そのうち特定地域医療機関において3年以上）医師の業務に従事したとき。

※初期臨床研修を指定医療機関で実施した場合、年数に含む。

（注）疾病、負傷、育児等による休業・休職の期間は12年から除きます。

※指定医療機関、特定地域医療機関については、P4を参照。

※しまね地域医療支援センターが策定する「キャリア形成プログラム」（P7を参照）に参加していただきます。

【勤務の例】

卒後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
勤務場所	初期臨床研修											

← 指定医療機関勤務 (1年目) …… 特定地域医療機関勤務 (5年目～6年目) …… 指定医療機関勤務 (8年目～9年目) →

7 奨学金の返還

貸与した奨学金は、貸与を受けた者が次の事由に該当するときは、その事由が生じた日の属する月の翌月末日までに、貸与を受けた奨学金の全額と、知事が別に定める場合を除き各月の貸与額についてその交付を受けた日から当該事由が生じた日までの日数に応じ年10%の利子を付けた金額との、合計額を返還しなければなりません。

(1) 返還事由

- ①奨学金の貸与が取り消されたとき
- ②大学の医学課程を修了した日から2年以内に医師免許を取得しなかったとき
- ③業務上の事由によらない死亡又は心身の故障により医師の業務に従事できないとき
- ④「6 奨学金の返還の免除」に記載の免除の条件を達成できない見込みとなったとき

(2) 返還方法

原則、返還事由が生じた日の属する月の翌月末日までの一括返還です。

特別な事情等があれば、相談により返還方法を変更できる場合もあります。

なお、返還期限に遅れた場合には、別途延滞金（年利 15%）が必要となります。

8 地域医療実習への参加

島根の地域医療に対する理解を深めてもらうため、島根大学と協力して実施している中山間地や離島の医療機関等での医療実習に参加してください。

※P5参照



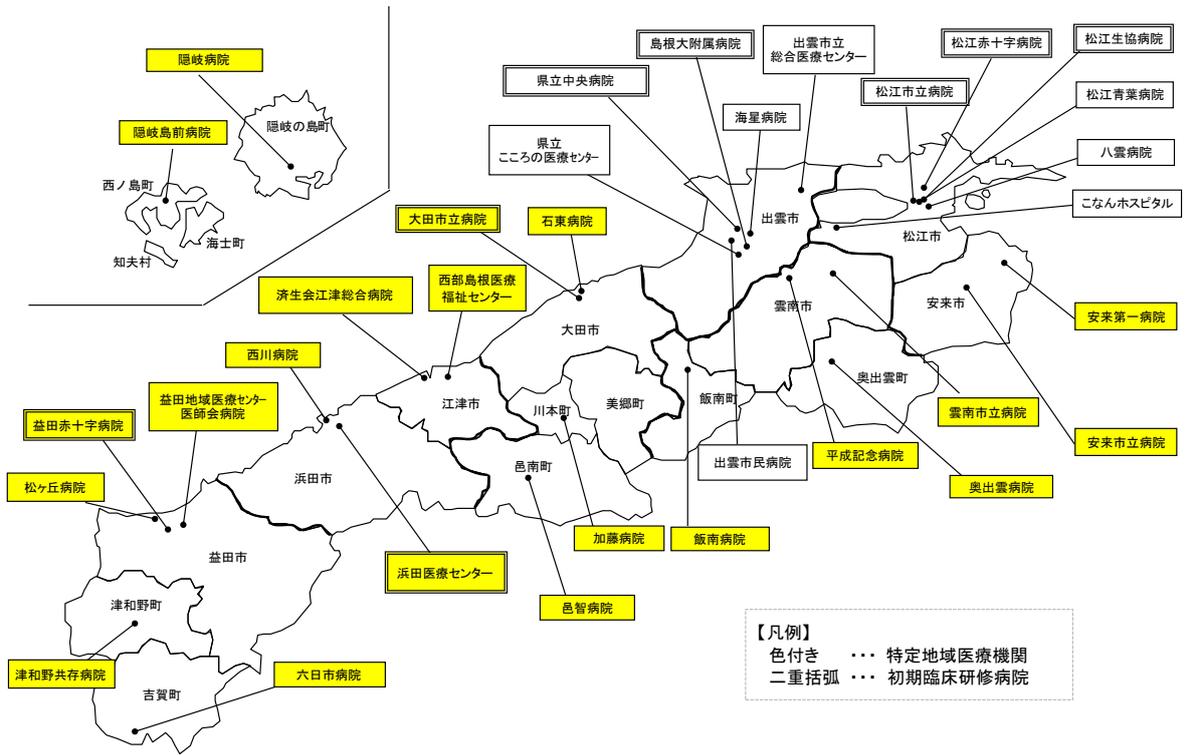
【問い合わせ先】

〒690-8501 松江市殿町1番地
島根県健康福祉部医療政策課 医師確保対策室 (Tel 0852-22-6684)
URL: <http://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiiki/iryousyougakukin.html>
e-mail: iryoin@pref.shimane.lg.jp



主な指定医療機関及び特定地域医療機関 (H30年2月現在)

圏域	指定医療機関	特定地域医療機関	初期臨床研修病院	圏域	指定医療機関	特定地域医療機関	初期臨床研修病院
松江	松江市立病院		○	大田	大田市立病院	○	○
	松江保健生活協同組合総合病院 松江生協病院		○		医療法人恵和会 石東病院	○	
	日本赤十字社 松江赤十字病院		○		社会医療法人仁寿会 加藤病院	○	
	医療法人青葉会 松江青葉病院				邑智郡公立病院組合 公立邑智病院	○	
	医療法人仁風会 八雲病院			浜田	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	○	○
	医療法人同仁会 こなんホスピタル				社会医療法人清和会 西川病院	○	
	安来市立病院	○			社会福祉法人島根整枝学園 西部島根医療福祉センター	○	
	社会医療法人昌林会 安来第一病院	○			社会福祉法人恩賜財団済生会 島根県済生会江津総合病院	○	
雲南	雲南市立病院	○		益田	日本赤十字社 益田赤十字病院	○	○
	医療法人陶朋会 平成記念病院	○			公益社団法人益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院	○	
	奥出雲町立 奥出雲病院	○			社会医療法人正光会 松ヶ丘病院	○	
	飯南町立 飯南病院	○			津和野共存病院	○	
出雲	出雲医療生活協同組合 出雲市民病院			隠岐	社会医療法人石州会 六日市病院	○	
	島根県立中央病院		○		隠岐広域連合立 隠岐病院	○	
	国立大学法人 島根大学医学部附属病院		○		隠岐広域連合立 隠岐島前病院	○	
	出雲市立総合医療センター			※上記のほか、公立診療所(保健所含む)も指定医療機関等に入ります。			
	島根県立こころの医療センター						
	医療法人同仁会 海星病院						



夏季・春季地域医療実習

医学生に地域医療を肌で感じてもらう事業です！

医学生のみなさんに島根の地域医療に対する理解を深めていただくため、中山間地や離島の医療機関等での医療実習を島根大学と協力して実施します。島根県の地域医療で働く人たちとの交流により、地域医療にたずさわる魅力ややりがいを実感してください。

対象

- 1 島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
- 2 島根県から奨学金の貸与を受けた医学生
- 3 島根の地域医療に興味を持つ医学生（大学や出身は、問いません。）

実施時期

年に2回 夏季・春季の長期休業の時期に実施

研修地域

松江、雲南、出雲、大田、浜田、益田、隠岐島後、隠岐島前

実習費用

旅費（宿泊費等含む）及び実習期間中の傷害保険及び損害保険については島根大学の規程に基づき支給します。

**SHIMANE
AKAHIGE
BANK**



医師募集キャラクター
赤ひげ先生

◇実習スケジュール例（大田地域）

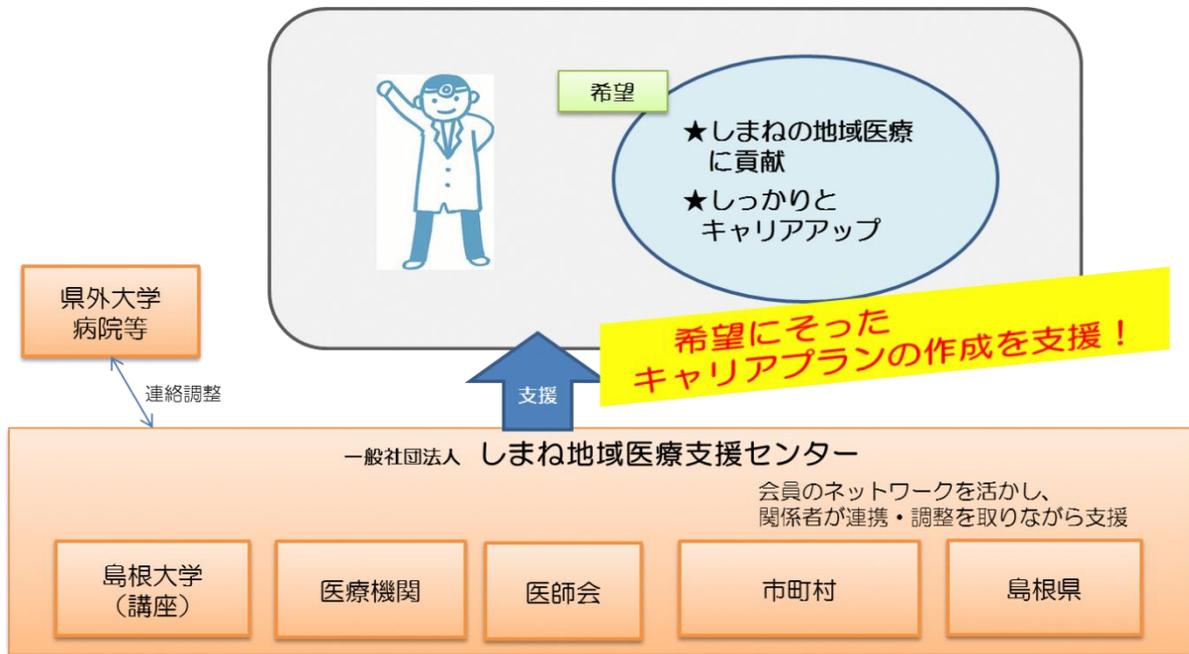
初日		2日目		3日目	
10:00	県央保健所集合 管内概況説明（県央保健所）	09:00	外来実習（公立邑智病院）	09:00	精神保健福祉施設実習 （亀の子工房）
11:00	移動	11:00	移動	12:00	（昼食）
12:00	（昼食）	12:00		12:00	（昼食）
13:00	訪問診療実習 （医療法人仁寿会 かわもと診療所）	13:00	診療所実習 （渡辺医院）	13:00	実習報告会（県央保健所）
			診療所実習 （川上医院）	14:00	解散
18:00	カレント・救急外来実習 （公立邑智病院）	17:00	宿泊（あすてらす）		

訪問診療や夜間の救急外来実習、往診を含む診療所実習、また精神保健福祉施設実習等、多彩なプログラムを用意しています。



しまね地域医療支援センター

しまね地域医療支援センターは、しまねの医療に貢献する志を持った若手医師の皆さんが、医師としてのやりがいと、しまねへの愛着を感じながらしっかりとキャリアを積んでいただけるよう、全力で支援します。



専任医師紹介



鬼形和道

島根大学医学部附属病院
卒後臨床研修センター
センター長・教授



谷口栄作

島根大学医学部
地域医療支援学講座
教授



佐野千晶

島根大学医学部
地域医療支援学講座
准教授



本田聡

島根大学医学部総合医療学講座
大田総合医療センター泌尿器科
教授



玉置幸久

島根大学医学部附属病院
放射線治療科
講師



木村清志

島根県健康福祉部
医療統括監



増野純二

島根県立中央病院
地域医療科
部長



山森祐治

島根県立中央病院
薬剤局/救命救急科
局長
6



土井克史

浜田医療センター
麻酔科 診療部長



守田美和

島根大学医学部附属病院
内分泌代謝内科
助教

しまね地域医療支援センターのキャリア支援

1 キャリア面談の実施

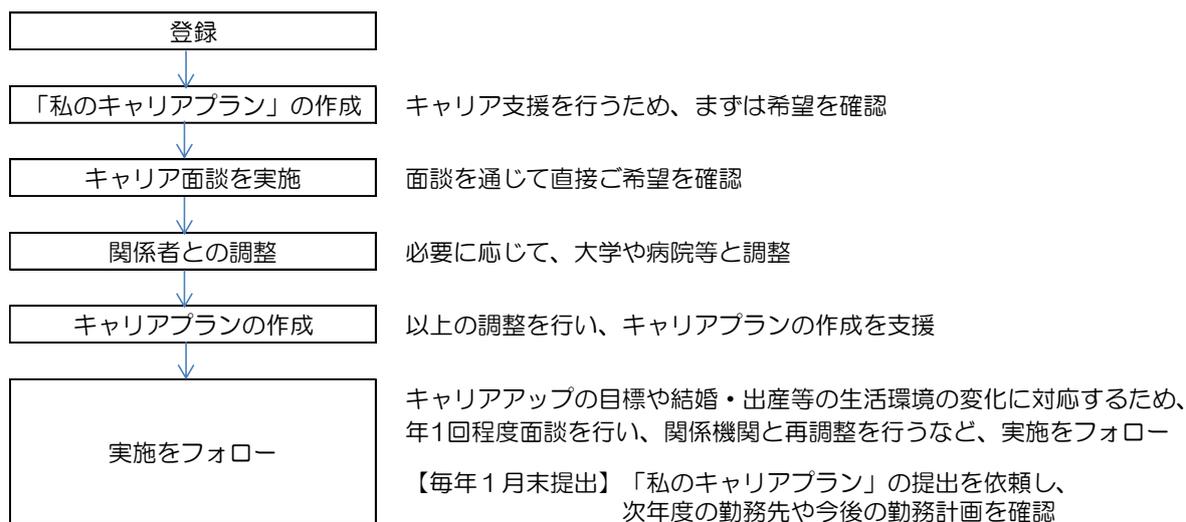
- ・ 毎年、当センターの専任医師が面談をして、研修や勤務の状況、これからの進路・キャリアプラン等をお伺いし、その後の支援に活かします。
- ・ この機会に、専門医取得や大学院進学等のキャリア形成、ご自身のライフイベント、奨学金等の義務履行など、お気軽にご相談ください。
- ・ また、情報誌「しまね地域医療支援センターマガジン」を年1回お届けします。

2 キャリアプランの作成・支援

- ・ 次年度の勤務先や今後の勤務計画等を確認するために、毎年1月末に「私のキャリアプラン」を提出いただきます。
- ・ この「私のキャリアプラン」をもとに、ご本人と話し合いをした上で、例えば、奨学金等の返還免除条件の履行が果たせるよう大学や病院等と調整を行ったり、国内外研修の支援を行うなど、個別のキャリアプランの実行を支援します。

＊次回の面談の際には、この「私のキャリアプラン」をもとに面談いたします。

《キャリア支援の流れ》



3 研修環境の魅力アップのための取組

★研修体制の充実支援★

- ・ 初期臨床研修医合同研修会
- ・ 臨床研修病院連絡会、相互見学、指導医講習会
- ・ 新専門医制度に対応したプログラムの情報発信

★研修医招へいのための情報発信★

- ・ ホームページ・facebook
- ・ 県内外の病院合同説明会に参加

★ワークライフバランスの推進★

- ・ 復職相談窓口「えんネット」の運営

★県内医療状況の調査分析★ など

